



アカマツ [赤松]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 マツ科マツ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い
幹肌が観賞ポイント

クロマツに比べ、葉が細く短く柔らかい。このため雌松(めまつ)とも呼ばれる2葉性のマツ。防風、建材として実用的な利用のほか、風致林や公園樹、庭園樹として配植される。尾根筋など土壌が痩せ、乾燥した岩地に生育する。園芸品種に株立樹形のタギョウショウがある。



Memo

マツの根は、やせた土地で菌類と共生し養分を吸収する。養分が多い土では共生関係が働かない。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■ (観賞には向かない)								
果 実											■ (翌年の秋に成熟)		
紅 葉													
施 肥	(不要)												
剪 定		■				■ (緑摘み) (揉み上げ)					■		

好みの環境				
日 当 り	陽	◎	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○					○	

ポイント

マツの植え付け時期は、休眠期の2～3月。陽樹のため、日当りを好むが、排水の良い貧栄養な土壌に適應できる。庭園では、季節ごとの手入れや維持に手間と費用がかかる。

剪定

上へ生長する傾向が強く、下枝が衰退する。そのため樹冠に枝がかたまる樹形になりやすい。幹肌と枝振りを生かした剪定がおすすめ。庭園では、新梢の「緑摘み」や古葉の「揉み上げ」が欠かせない。

病虫害

「松くい虫」と呼ばれるマツノザイセンチュウによる枯れの被害がある。また、マツカレハの幼虫により葉が食害を受けることがある。

呼べる鳥



[カケス](#)・[ヤマガラ](#)・[アオゲラ](#)
[ホオジロ](#)・[ヒガラ](#)・[マヒワ](#)・[キジバト](#)
[シジュウカラ](#)・[スズメ](#)・[シメ](#)
[カワラヒワ](#)